

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年 04月 26日

事務事業名	介護二次予防事業		担当	健康福祉部 福祉課 地域支援係
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり		電話番号	0285-83-8132
施策名	5 高齢者の自立と社会参加の支援		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
法令根拠	介護保険法 115 条の 38・1 項 1 号			
予算科目	5.介護保険特別会計(保険事業勘定)	3.地域支援事業費	1介護予防	1介護予防
事業概要	介護認定を受ける前の二次予防事業対象者（虚弱な状態にある高齢者等）に対して、要支援・要介護状態になることの予防あるいは要支援・要介護状態の軽減や悪化防止を目的として、運動器の機能向上事業、栄養改善事業、口腔機能の向上事業等を実施する。また、うつ、認知症、閉じこもり等の二次予防事業対象者に対しては、訪問による介護予防支援を行っていく。 二次予防事業対象者を把握することや、この施設事業の評価についても実施する。地域支援事業の中の介護予防事業のうち、二次予防事業対象者者について国が示す割合では、高齢者の人口のおおむね 5 %いるということになっている。			

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
22年度実績 要介護・支援者を除く1号被保険者に生活機能評価を行い、医師が総合的に介護予防事業の利用が望ましい判断した者を対象者にして地域包括支援センターが決定し、運動器機能向上、口腔機能向上、認知症予防事業への参加を呼びかけ、井頭温泉や通所介護事業所に委託して事業を展開した。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 二次予防対象者数</td><td>人</td><td>612</td><td>746</td><td>830</td><td>1838</td><td>1874</td></tr> <tr> <td>イ 二次予防事業参加者数</td><td>人</td><td>260</td><td>246</td><td>260</td><td>317</td><td>323</td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 二次予防対象者数	人	612	746	830	1838	1874	イ 二次予防事業参加者数	人	260	246	260	317	323	ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																												
ア 二次予防対象者数	人	612	746	830	1838	1874																																												
イ 二次予防事業参加者数	人	260	246	260	317	323																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
23年度計画 前年度と同様																																																		
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
要介護・支援者を除く1号被保険者		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 第1号被保険者数</td><td>人</td><td>9,825</td><td>10,117</td><td>13,842</td><td>13,781</td><td>14,056</td></tr> <tr> <td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 第1号被保険者数	人	9,825	10,117	13,842	13,781	14,056	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																												
ア 第1号被保険者数	人	9,825	10,117	13,842	13,781	14,056																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
要支援・要介護になることを予防する		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 二次予防対象者出現率</td><td>%</td><td>6.22</td><td>7.37</td><td>6.0</td><td>13.3</td><td>13.4</td></tr> <tr> <td>イ 二次予防事業参加者率</td><td>%</td><td>42.5</td><td>33.0</td><td>31.3</td><td>17.2</td><td>17.3</td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 二次予防対象者出現率	%	6.22	7.37	6.0	13.3	13.4	イ 二次予防事業参加者率	%	42.5	33.0	31.3	17.2	17.3	ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																												
ア 二次予防対象者出現率	%	6.22	7.37	6.0	13.3	13.4																																												
イ 二次予防事業参加者率	%	42.5	33.0	31.3	17.2	17.3																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
地域で自立した高齢者を増やしていく		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>19年度(実績)</th><th>20年度(実績)</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 運動器等機能向上率</td><td>%</td><td>81.1</td><td>81.5</td><td>81.5</td><td>79.4</td><td>80.0</td></tr> <tr> <td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	ア 運動器等機能向上率	%	81.1	81.5	81.5	79.4	80.0	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																												
ア 運動器等機能向上率	%	81.1	81.5	81.5	79.4	80.0																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)																																											
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	1,570	5,675	6,638	8,881	0																																										
		県支出金	千円	785	2,837	3,319	4,440	0																																										
		地方債	千円	0	0	0	0	0																																										
		その他	千円	1,947	7,037	8,231	10,657	0																																										
		一般財源	千円	1,978	7,154	8,365	11,546	0																																										
事業費計（A）		千円	6,280	22,703	26,553	35,524	0																																											
人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0																																											
	延べ業務時間	時間	900	880	880	880	0																																											
	人件費計（B）	千円	3,770	3,677	3,569	3,756	0																																											
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,050	26,380	30,122	39,280	0																																											
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																		
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。		平成12年度から介護保険制度が始まり、認定者が増加し、給付費も大幅に増加しているために、介護予防を重視し、18年度からの改正により本事業を開始した。																																																
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		平成22年8月の改正で、介護予防事業に参加しやすい名称の変更として「介護予防事業特定高齢者施策」から「介護二次予防事業」に変わった。																																																
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		なし																																																

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 特定高齢者を把握し、その特定高齢者に対して要支援・要介護状態になることを予防することは、住み慣れた地域で、安心して生活を送れる高齢者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 介護保険法に必須事業として定められているため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象・意図は、介護保険法で定められているので、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある すべての特定高齢者に周知している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 介護保険法で定められているので、廃止・休止もできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費であり、削減の余地がない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているため、削減の余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 介護保険法に定められており、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								